



ヨード過敏症患者に禁忌の薬剤に注意してください。

現在、電子カルテ上で薬剤アレルギーやヨードアレルギーの記載を行っていただいております。今回、ヨードのアレルギー歴のある患者に対してヨードを含有する製剤が使用された事例がありました。それに伴い、ヨード過敏症に禁忌のある薬剤について、以下の薬剤のアレルギー歴がある患者に注意喚起のメッセージを表示するようにしましたので、ご確認ください。

ヨード禁忌薬剤について

以下の表の薬剤はヨード過敏症のある患者に禁忌です。

薬剤分類	該当薬剤
造影剤	ガストログラフィン経口・注腸用、ウログラフィン注、イオパミドール注、イオパミロン注、イオプロミド注、イオヘキソール注、イオメロン注、オイパロミン注、オブチレイ注、オムニパーク注、ビリスコピン点滴静注、リピオドール注 (主成分にヨウ素を含有)
蛍光検査用剤	ジアグノグリーン注射用、オフサグリーン静注用 (主成分にヨウ化ナトリウムを含有)
消毒剤	産婦人科用イソジンクリーム、イソジンゲル、ポビドンヨード外用液、イソジンガーグル液、ポビドンヨードガーグル、PA・ヨード点眼・洗眼剤 (主成分にヨウ素を含有)
皮膚科用剤	カデックス軟膏、メイスパン配合軟膏、ユーパスタコーワ軟膏 (主成分にヨウ素を含有)
電解質製剤	ヨウ化カリウム丸 (主成分にヨウ素を含有)
抗不整脈剤	アンカロン錠、アミオダロン塩酸塩錠・静注 (分子構造内にヨウ素を含有)
抗癌剤	エピルビシン塩酸注射用 (肝動脈化学療法の場合のみ、乳濁液にヨードを含有) ミリプラ動注用 (懸濁用の液にヨードを含有)

例：「イオパミロン注」をアレルギー登録されている患者に「アミオダロン塩酸塩錠」を処方した場合



薬剤によるアレルギーを確認したときは、患者基本情報に薬剤名を登録して下さい。

